

令和元年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告  
 (交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

本交付金の目的	総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業の実施に要する費用に充てるため、国が地方公共団体に対して交付金を交付することにより、地方公共団体による、それぞれの地域の実情に応じた地方創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図ることを目的とする。		
交付対象事業の名称	武蔵村山の魅力づくり推進事業～魅力教え隊及び魅力マイスター制度の活用～	総合戦略該当ページ	44、49
基本目標	まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる		
事業概要	市の魅力を SNS 等で発信する「魅力教え隊」制度に加え、市の伝統文化の技をもつ人等を「魅力マイスター」として認定する制度を新設し、市の魅力を広く発信することで、来訪者の増加、ひいては市内経済の活性化につなげる。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回魅力づくり推進協議会開催 (5月14日)</li> <li>・第2回魅力づくり推進協議会開催 (9月27日)</li> <li>・モニターツアーの実施 (11月16日・17日)</li> <li>・モニターツアーコースマップ制作</li> <li>・むむちゃんクリアファイル制作</li> <li>・魅力づくり推進事業交流会 (魅力マイスターの方が参加予定)</li> </ul> ※3月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
事業費	2,000 千円		
	指標	令和元年度末実績値	令和元年度目標値
本事業における KPI	モニターツアーの市外からの応募者数※事業開始前 103 人 (ツアー8回無料)	48 人 ※ツアー 2 回 (参加費 1,000 円)	80 人
	「#MM 教え隊」市以外からの SNS 発信数 ※事業開始前 66 回	258 回	550 回
	市外からの休日の滞在人口※事業開始前 17,284 人	16,445 人	18,254 人
課題	市内に観光スポットが多数あるが、来訪者数は横ばい状態なので広報に力を入れて来訪者が増となるよう努める必要がある。		
令和2年度事業予定	令和2年度に設立した武蔵村山観光まちづくり協会の事業として魅力マイスターの活用等を継続していく。また、イベント開催時には市と協力しながら PR に努め、集客増を目指す。また、「#MM 教え隊」を活用し、市の観光スポット等を発信することで、本市への来訪者の増加を目指すとともに、SNS で市内観光スポット等の情報拡散を目指していく。		

外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無 <b>有</b> ・ 無
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターツアー後の波及効果の有無がモニターツアーの効果の指標になるため、今後はSNSを見て来た人に対して、割引などを実施すれば効果が分かるのではないかと。</li> <li>・ 人目を引くような施策を検討する必要がある。</li> <li>・ 地域住民の生活上のニーズ・要望を把握する必要性があるため、アンケートの実施、ご意見箱のようにいつでも意見を出せる仕組みの構築、定期的な現地ヒアリングの実施などが行われると望ましい。</li> <li>・ PR動画を流すだけでは、「実施している」状態に止まってしまい、市民に届かない。各部署で連携し、広報の在り方について再検討する必要がある。</li> <li>・ 「魅力教え隊」が市の情報を発信しやすいよう、情報を定期的に送るなどして拡散しやすい環境を整える必要がある。</li> <li>・ 「魅力マイスター」について、どこに、どのような方がいるのか発信したり、マイスターの技術を生かして地域内外に向けて講座（イベント）や体験会を開催するなど工夫する余地がある。</li> </ul>

●K P I の補足指標

指標	事業開始前	H30 年度実績	R 元年度実績	R 元年度目標
情報発信アプリのダウンロード数	—	614 件	463 件	280 件